

「大学のまち京都・学生のまち京都推進計画2019－2023」 に基づく令和5年度の主な取組

1 ふるさと納税を活用した大学における地域連携等推進事業

【柱1 (3)－⑤大学への寄付の増進】

【柱3 (1)－④ふるさと納税寄付金における学生応援メニューの開設】

【柱5 (4)－①大学と地域の連携強化】

(1) 事業概要

「大学のまち京都・学生のまち京都」の魅力向上に向け、ふるさと納税を活用し、大学・学生と地域の連携強化等を図るため、本市と取組に御賛同いただいた大学及び短期大学との間で、「ふるさと納税を活用した大学・学生と地域の連携強化等に関する協定」を締結。

本事業において、連携協定に基づき本市が収入するふるさと納税寄付金を活用し、各大学が実施する地域連携等の取組の後押しを行う。

<連携大学の拡大>

R3年度 3大学

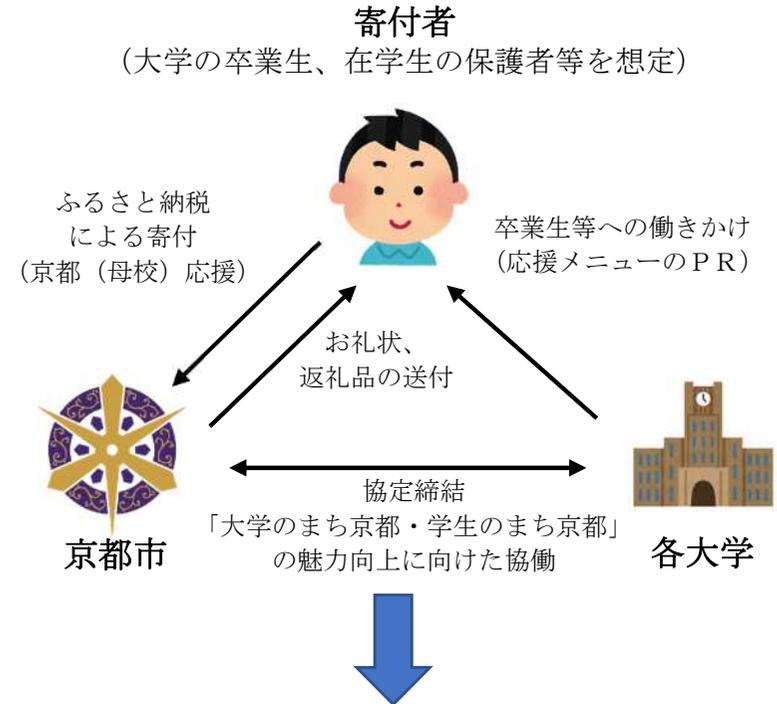
R4年度 24大学・短期大学

R5年度 28大学・短期大学

(2) 令和5年度取組内容

令和4年度に収入した寄付金を活用し、24大学・短期大学に補助金を交付予定。また、長引くコロナ禍や物価高騰等の影響により、大学・学生を取り巻く状況が厳しくなっていることを受け、**経済的に困窮する学生への支援に関する取組にも、寄付金を活用できるよう補助対象事業を拡大**する。

事業イメージ



以下の取組に寄付金の一部を活用

①地域社会及び企業等との連携強化に関する取組

⇒地域課題解決事業、小中高大連携事業など

②地域の人材育成に関する取組

⇒リカレント教育、アントレプレナー（起業家）育成など

③経済的に困窮する学生への支援に関する取組

⇒大学が実施する奨学金・授業料減免、学生の家賃補助など

「大学のまち京都・学生のまち京都推進計画2019－2023」 に基づく令和5年度の主な取組



2 キャンパスプラザ京都の利用促進・在り方検討

【柱1 (1)ー⑤京都市大学のまち交流センター（愛称：キャンパスプラザ京都）の利用促進】

(1) 事業概要

平成12年9月創設。大学における学術研究の成果、その他の知的資産を活用することにより、豊かな地域社会の形成に資するため、大学相互の間及び大学と産業界、地域社会等との間の連携・交流を促進する活動等に活用。

施設の管理運営については、平成18年度から指定管理者制度を導入し、以降、大学コンソーシアム京都を指定管理者（※）として指定している。

※令和4年度に「京都市大学のまち交流センター指定管理者選定委員会」を設置し、非公募により審査を行った結果、令和5年度から令和8年度の指定管理者に（公財）大学コンソーシアム京都を選定した。

<主な機能>

① 執務室

大学コンソーシアム京都の事務局として、職員の執務室として利用

② 講義室等

単位互換事業等、大学コンソーシアム京都が取り組む事業や、大学コンソーシアム京都の評議会、理事会等の開催場所として利用

③ 学生団体の活動拠点

京都学生祭典、京都学生広報部等の活動を行う事務スペースとして利用

④ 地域連携・学生の交流拠点

地域連携を促進するための学生の活動拠点、学生同士の交流、京都らしい学生生活への誘導を行う拠点（学生PLACE+）

⑤ 地域企業との連携拠点

京都市内の中小企業の担い手確保を支援するとともに、若者が京都で働き、暮らすための就職を支援する拠点として、「京都市わかもの就職支援センター」を設置

<入館者数実績>

元年度：349,515人 R2年度：164,720人 R3年度：159,218人 R4年度（R5年2月末現在）：215,198人

(2) 令和5年度取組内容

一人でも多くの大学関係者に、キャンパスプラザ京都の存在や重要性を改めて認知いただき足を運んでいただけるよう、サービスの向上等に努めるとともに、社会情勢や高等教育を取り巻く環境の変化を踏まえ、今後の大学政策の在り方とともに、キャンパスプラザ京都に必要な機能や在り方について、本会議での御意見等を踏まえながら検討を進めていく。

「大学のまち京都・学生のまち京都推進計画2019－2023」 に基づく令和5年度の主な取組

3 オール京都による「留学生スタディ京都ネットワーク」を軸にした留学生誘致・支援の推進

【柱2 (1)－① 戦略的な留学生誘致の展開】

(1) 事業概要

グローバル化の進展に伴い、世界的な留学生の獲得競争が激化する中、京都への留学生誘致を加速・拡大するため、京都の大学、日本語学校、専修学校、経済界、京都府などと共に、平成27年5月、「留学生スタディ京都ネットワーク」を設立し、オール京都の体制で留学生誘致・支援に取り組んでいる（令和4年度加盟団体数：96団体）。

この間、ネットワークを中心に、多言語による海外への京都留学の魅力・情報の発信をはじめ、留学生の受入環境整備、就職支援など、入口から出口までの総合的な取組を展開した結果、ネットワークの発足から令和3年度までの6年間で、市内の留学生数は全国の伸び（1.2倍）を上回る1.5倍増を達成。

<市内の留学生数>

平成27年： 8,886人
⇒令和3年：13,381人（+4,495人、1.5倍増）

(2) 令和5年度取組内容

この数年、留学生に大きな影響を与えたコロナ禍が落ち着く兆しをみせている中、**持続可能な京都への留学生誘致・支援を見据え、ネットワークを軸にした取組を通じ、「京都に留学してよかった。」と実感し、卒業後も京都ファンとして、京都に愛着・関心を持ち、京都との懸け橋となる留学生の裾野の拡大を図る。**

<主な取組（予定）>

- ・ 海外での対面形式による京都留学説明会の復活、首都圏の日本語学校を対象にしたオンライン説明会の継続開催
- ・ 留学生が京都の文化に触れ、交流できる講座の開催 など



「大学のまち京都・学生のまち京都推進計画2019－2023」 に基づく令和5年度の主な取組

4 地域企業と連携した次代の京都の担い手育成事業

【柱4 (1)－①地域企業と連携した担い手育成】

(1) 事業概要

京都で学ぶ学生（留学生を含む）を対象に、京都の地域企業と連携し、企業が直面する課題の解決に向け、PBL（課題解決型学習）の手法を通じ、学生と企業と一緒に考え、取り組む場を通じ、次代の京都の担い手の育成を目指している。

令和4年度は、PBLに加え、京都の地域企業と出会い・知るきっかけを得る交流会を新たに実施し、留学生を含む学生が就職活動前の早い段階から、地域企業と接点を持ち、京都での就職・定住促進のきっかけづくりに取り組んだ。

本事業の参加者においては、就職した学生のうち約3割は京都企業へ就職するなど、京都企業との縁を得た学生の京都での就職率が高くなる傾向にある。

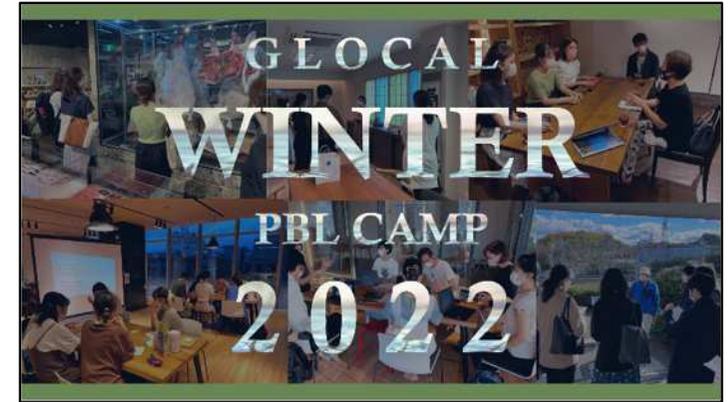
（参考）京都府内大学生の府内就職割合

令和4年3月卒：18.6%

※ 令和3年度「京都府総合計画・京都府地域創生戦略」実施状況報告書より

(2) 令和5年度取組内容

令和5年度はPBLのほか、交流会の実績を踏まえ、学生（留学生含む）が実際に現場（工場）を訪問し、現場の空気を味わいながら、**地域企業のこだわりや強み（オリジナルの付加価値）に触れる「実地体験型」プログラムの展開を図る。**



留学生対象 定員：20人 京都の企業人と交流できます！

京都企業と話そう！

「京都ではたらくことについて」

Q&A

三共精機(株) 〈商社〉	(株)ホリゾン 〈メカ〉	生田グローバル(株) 〈研修・教育〉
曙産業(株) 〈商社〉	大東寝具工業(株) 〈メカ〉	(株)さんせん清水 〈メカ〉

日程
12月26日(月)
14:00-17:00

申込はコチラ！
もしくは下記URLから
<https://forms.gle/gdP2h7QzCfQZfE5>

場所：QUESTIONビル7階
京都市中京区河原町通御膳下5下丸屋町 060-2

京都市 主催：京都市（委託事業者：NPO法人グローバル人材開発センター）
お問合せ先：（電話）075-411-5010
（mail）tomohito.nakano@glocalcenter.jp 担当：木下・中野

「大学のまち京都・学生のまち京都推進計画2019－2023」 に基づく令和5年度の主な取組

5 地域企業のインターンシップの活用促進

【柱4 (1)－②地域企業の魅力発信の強化】

(1) 事業概要

地域企業のインターンシップの活用を促進することで、企業の魅力発信を強化し、地域企業の担い手確保につなげるため、企業向けセミナーや、学生等が短期間で複数の地域企業を訪問する地域企業訪問プログラム、企業や大学、学生等への情報発信などを行う。

(2) 令和5年度取組内容

① 企業向けセミナーの開催

インターンシップの設計方法や情報発信ノウハウ等に関するセミナーを開催。

② 地域企業訪問プログラムの実施

1コースあたり5～15名程度の学生等が、1～3日間で数社の地域企業を訪問するプログラムを実施。

<コース例>・業種ごとのコース（例：製造、観光など）
・特徴ごとのコース（例：福利厚生が充実など）

③ 情報発信

経済団体や（公財）大学コンソーシアム京都、大学等の関係機関と連携するとともに、「京のまち企業訪問」サイトやSNS等を活用し、企業や大学、学生等にインターンシップ活用事例等を発信。

京都企業情報サイト「京のまち企業訪問」 令和5年3月1日にサイトリニューアル



新たに新卒採用やインターンシップ情報を掲載するなど、学生の就職活動により役立つサイトに改修するため、「京のまち企業訪問」リニューアル学生プロジェクトチームを立ち上げ、学生とともに企画。令和5年3月1日にサイトをリニューアル。

【主な改修内容】

- ・若者が使ってみたくなるような見やすいデザインに変更
- ・会社で働いている「先輩社員の声」を写真付きで掲載
- ・就活を始める学生にとって参考となる情報を掲載

「大学のまち京都・学生のまち京都推進計画2019－2023」 に基づく令和5年度の主な取組

6 リカレント教育の推進



【柱5 (1)ー①リカレント教育（職業人・社会人向けの教育プログラム）等の実施・充実】

(1) 事業概要

職業人や社会人、企業、地域の教育ニーズについて調査・研究し、次代における効果的なリカレント教育の実施や、各大学で実施している社会人向け教育プログラムへの支援、先行事例の紹介等を行うことで、年齢に関係なく自らのキャリアアップやスキルアップのために学べる環境づくりを進める。

(2) 令和5年度取組内容

① 「京（みやこ）カレッジ」におけるリカレント教育プログラム【市・コンソ協働事業】

- ・ 働く人のためのデータサイエンス講座－現場で使える分析法・処理法－
- ・ 現代の教養講座『宇宙移住に向けた最先端研究と企業技術』
- ・ 現代の対人援助に必要なこと－新しい領域と課題の生成をめぐる－【新規】



② ふるさと納税を活用した大学における地域連携等推進事業【市事業】

本市と大学の協働により集めた寄付金を活用して、大学が実施するリカレント教育等の地域貢献事業等に対して補助金を交付。
(参考) 令和4年度 活用例

京都女子大学：女性のキャリアアップ・社会復帰を支えるリカレント教育

③ リカレント教育に係る情報発信サイトの創設【コンソ事業】

文部科学省による社会人の大学等での学びを応援するサイト「マナパス」と連携し、京都の大学が実施するリカレント教育プログラムを紹介する情報発信サイトを令和5年度中に運用開始予定。

④ 大学・産業界・行政の意見交換の場づくり【府市コンソ協働事業】

令和4年7月に設置された「京都府リカレント教育推進機構」を中心に、文部科学省国庫事業「地域ニーズに応える産官学連携を通じたリカレント教育プラットフォーム構築支援事業」を活用し、大学等のシーズと地域ニーズのマッチング等を実施予定（現在、文部科学省に申請中）。